

令和2年度農地利用状況調査の効率化ソリューションの 実証分析調査委託事業 実証方法説明(アクセルスペース)

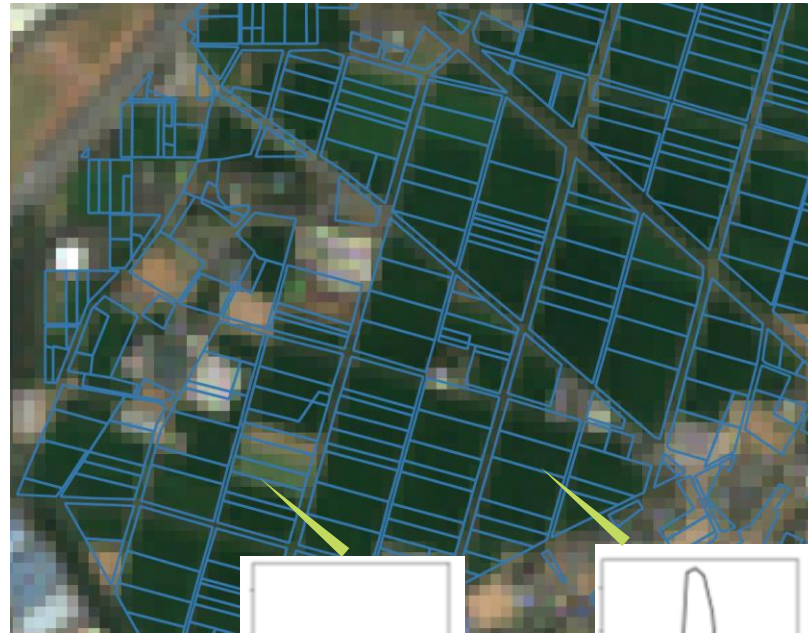
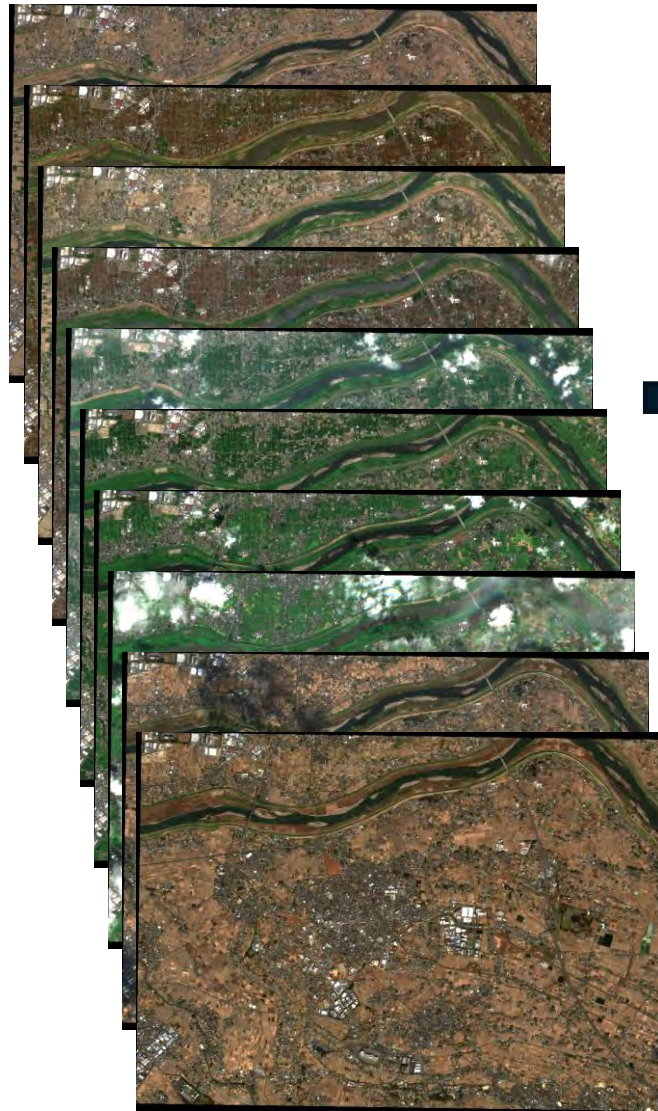
2021月3月3日



実証方法の概要

2020年に撮影されたSentinel-2 データを37点使用

AXELSPACE



30m x 30 m 以上の圃場を対象

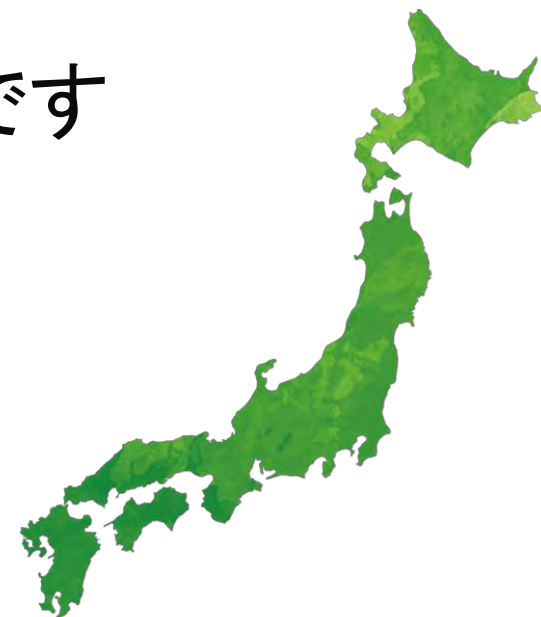


© Copernics のデータを元にアクセルスペース作成

- ・ 撮影時点毎・農地毎の植生指数を算出
- ・ 植生指数の特徴ごとに分類→遊休農地判定

- **日本全国の自治体で同様のデータ提供が可能です**

- 自治体様ごとに都度画像データ取得を行うのではなく、日本全域をカバーするデータを利用しています
- 今後、Axelspace が提供するAxelGlobeのデータによってより細分化された農地(15m x 15m 以上)にも対応予定です



- **農地の形状の地番図のみではじめられます**

- ご利用時に事前の現地調査、関係する地権者・他の行政機関との調整を必要としません
- 地番ごとの判定のためには農地の形状がポリゴンデータとして含まれる地番図データが必要です



所在地: 東京都中央区日本橋本町3-3-3 Clipニホンバシビル2階・3階

代表者: 代表取締役CEO 中村 友哉

設立: 2008年8月8日

資本金: 4,537百万円(資本準備金を含む)

主な事業内容: 超小型衛星による地球観測事業、超小型衛星等を活用したソリューションの提案、
超小型衛星及び関連コンポーネントの設計及び製造、超小型衛星の打ち上げアレンジメント及び運用支援・受託

URL: <https://www.axelspace.com>

- ・ 創業以来、世界初の民間商用超小型衛星を含む5機の実用衛星を開発・運用。
- ・ 分解能2.5mを持つ数十機の衛星から構成される次世代型地球観測プラットフォーム「AxelGlobe」を構築中。2018年12月に最初の衛星を打ち上げ、2021年3月に追加4機を打ち上げ予定。5機体制運用となることで、観測頻度が現在の2週間に1度から2〜3日に1度になり、様々な業界での本格的な利用が可能となる。
- ・ 農林水産省2019年度の「デジタル地図」を活用した農地情報の管理に関する検討会に関係企業として参画。
- ・ 経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、及び日本貿易振興機構主催の「J-Startup※」で特待生(J-Startup企業)認定。※日本に約10,000社あるスタートアップ企業の中から特待生(J-Startup企業)を選び、官民で集中的に支援していくことで、日本の成長と雇用を支える新たなエコシステムを構築するプログラム。
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が実施する「JAXA宇宙イノベーションパートナーシップ」の枠組みの下、小型光学衛星コンステレーションによるソリューション事業について、共に新たな事業価値を創造する「事業コンセプト共創活動」を実施中。